



マ・メールのひろば

節分の行事から始まった2月。鬼の登場に泣くことも忘れかたまる子どもたち。鬼が近づけば先生のもとで身を隠し、鬼をじっと見つめます。隙あらば豆を投げ、中には柊ごと投げてしまう子も。怖いけど見たいという気持ちがおそらく全員あったのではないかと思います。獅子役者の金子氏が「本気で怖がれるのは今しかない」と言っていたように、「怖い」という時間をもつことができ、鬼が逃げていく後ろ姿をみてホッとした顔を見せる子どもたちでした。行事後は何度もドキュメンテーションを見たり、鬼の絵本を手にしたたり、鬼になりきる子もいました。その日限りでなく、子どもたちの心に残る春を迎える行事となったのではないかと思います。

てんとうむしぐみの子はまるで自分の家のように園内を自由に動いてあそび、ちょうちょぐみの子は自分のやりたい想いがしっかりあって自分で遊びを見つけています。みつばちぐみの子は散歩に行く年下の子を「いってらっしゃーい」と見送り、「おかえりなさい」と出迎えることもあり、進級にむけて頼もしい姿を見せています。このような子どもたちの姿が、家庭的な雰囲気や自然とつくり、外部の見学の方が「落ち着きますね」「お家みたいですね」と言ってくれています。

3月は「おおきくなったおいわい会」で子どもたちが園長先生のところに、堂々と証書を取りに行く姿が見られるのではないかと楽しみです。主任 松原健太



おどります

高畠純 絵本館

子どもたちに人気があるのがこの“おどります”ぶたやうまやいぬ等の動物たちが「メケメケ フラフラ」と踊りをおどる。これはフラダンスだと優雅に読んでいたら、作者の高畠さんにこれは男踊りで元気よく読むんだと教えてもらい、それ以来元気に読むようにしている。最後のページは「さあ、きみも！」となっている。踊り好きのマ・メールの子どもたちが、この本を好きにならないはずはない！でも、恥ずかしくて踊り出せない子もいるんですね。ひとりひとり違うからおもしろい！



園長 安井素子

えんちょうのミニコラム

コロナウィルスの情報は毎日更新されています。どの情報を信じたらいいのか、子育て中の保護者の方は不安にならざるをえない状況ですね。何を信じたらいいのか、大人も自分の判断を求められる時代です。そして、子どもたちも“主体性”を求められています。でも、まだ小さい人たち。“自分で考える”も大事な生きる力だけれど“甘える”も大事な生きる力です。甘やかしてるなあくらいでも、きっと大丈夫！それが一番大事な人を信じる力につながる気がします。



3がつ

おたんじょうびのおともだち

みつばち

7日	いぶきくん	3さい
21日	さなちゃん	3さい
24日	ゆうしんくん	3さい

ちょうちょ

13日	りおちゃん	2さい
15日	みずかちゃん	2さい

HAPPY BIRTH DAY

3月行事予定

- 3日(火) ひな祭り
- 12日(木) こうちゃんとあそぼうの日
- 17日(火) 19日(木) 園開放【9:30~11:00】
- 19日(木) おおきくなったおいわい会【10:00~】
- 21日(土) パパ Day【9:30~11:00】
- 25日(水) 誕生日会・身体測定・避難訓練

